ぶんへん
Journal
第25号
2026（R8）年11月18日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

県新人結果

卓球男女で団体ベスト8
練習の成果 結果残す

10月31日から11月9日にかけて、山形県新人大会が行われた。今大会では各部、新人チームの成果と課題を実感し、卓球では男女ともに団体でベスト8という結果を残し、健闘した。


サーブを打ち込む山川知龍選手（1 - 2）

県新人大会

卓球

日時：11月7・8日
於：河北町民体育館

【男子】
団体
一回戦シード
○寒河江3-0鶴岡高専
×寒河江0-3鶴岡東
ベスト8
個人
シングルス
山川知龍（1-2）
二回戦惜敗
志賀悟（2-4）
一回戦惜敗
【顧問寸評】
これより上に上がるには、チームの団結が不可欠である。チームメイト同士が切磋琢磨する姿を見ることができるかがこれからの課題。
【選手寸評】
最低限求める結果は達成できたと思うが、「チームとしてまとまれていない」「集中力が欠けている」という課題は残っている。冬期リーグに向けて、チームとしてまとまったプレーができるように、一人一人が意識を高くもって練習に臨んでいきたい。

【女子】
団体
一回戦シード
○寒河江3-0米沢興譲館
×寒河江2-3米沢中央
県ベスト8
個人
シングルス
砂田蒼空（2-3）
岩崎未侑（2-1）
一回戦惜敗
【顧問寸評】
全員で一丸となって取り組むことができた大会でした。今回の大会を通してできた課題を今後の練習に活かしてください。
【選手寸評】
戦い方・考え方次第で、強い相手でも自分たちでも通用することがよく分かった。これから色んな経験を積んで来夏に向けてリベンジしたい。

剣道

日時：11月8・9日
於：寒河江市民体育館

【男子】
団体
×寒河江0-4米沢中央
×寒河江0-5鶴岡工業
○寒河江3-2寒河江工業
予選リーグ3位敗退
※寒河江・山商の合同チームで出場
個人
菊地健友（2-2）
一回戦惜敗

【女子】
団体
○寒河江3-0東桜・村山・神室
×寒河江0-2左沢
予選リーグ2位敗退
個人
小野妃真莉（1-5）
一回戦惜敗
【顧問寸評】
男子3名、女子4名と5人戦において人数面でビハインドを抱える中、選手それぞれが持ち味を発揮して堅実に戦い抜いてくれた。大将までつなげず予選リーグ敗退となったものの、男女とも1勝を挙げられたことに確かな成長を感じる。個人戦は善戦しながらも、1本が決まらず悔しい結果となった。女子団体は次なる全国選抜予選に向け、今大会の反省を糧にしていきたい。勝負所で1本を決めきる力を養うため、冬の地道な稽古で剣先の冴えを磨いていく。

ソフトテニス

日時：10月31日・11月1日
於：山形県総合運動公園

【男子】
団体
×寒河江1-3酒田光陵
※寒河江工業と合同
個人
小野・五十嵐
1回戦惜敗

【女子】
団体
○寒河江2-1鶴岡中央
×寒河江0-3米沢中央
個人
寺田・齋野
1回戦惜敗
軽部・高梨
2回戦惜敗
【選手寸評】
ミスが目立ち、勝てそうな試合でも負けてしまった。今後はサーブを始め、安定するように筋力をつけることが課題である。

地区新人大会

女子バスケ

日時：11月7日（土）
於：東海大山形

一回戦突破
【顧問寸評】
公式戦初勝利を飾り、負け続けていた対戦校に勝つことで、選手の成長が感じられた。
【選手寸評】
チャンスや流れを逃すことなく最後まで集中して戦い抜くことができた。

バレー

日時：11月7・8日
於：山形南高校

【男子】
予選リーグ
○寒河江2-1山形商業
○寒河江2-0創学館
決勝トーナメント
一回戦
○寒河江2-0山形東
二回戦
×寒河江0-2山形城北
シード決定戦
×寒河江0-2山形学院
【顧問寸評】
春高予選のリベンジを果たし、2日目に残されたことは大きな成長だった。格上との試合で得た学びを次にいかしてほしい。
【選手寸評】
山形商業へのリベンジを果たし、チームの成長を実感できた大会でした。格上との試合を通して浮き彫りになった課題としっかり向き合い、1月の大会に向けてこれからの練習に取り組んでいきます。

【女子】
日時：11月7・8日
於：県立山形北高校
×寒河江0-2東海大山形
【顧問寸評】
ガッツあふれる女子プレーが随所に見られた。1月の県大会に向け、チームの課題を共有し、全員で同じゴールを目指して、練習に励むことを期待する。
【選手寸評】
今回の大会では2試合とも負けてしまい、悔しい結果となった。前回の大会と比べて成長した部分もあったが、技術面やチームとして足りない部分が多くあると感じた。反省を生かし次の大会に繋げたい。


→スパイクを打ち込む鈴木煌芽選手（1・5）

※次号以降に男子バスケ部と弓道部の結果を記載します。

お詫び

第24号のカヌー部と女子バドミントン部の選手名に誤りがありました。正しくは以下の通りです。
中村拓朗（2-3）
佐竹花帆（2-1）
訂正して心よりお詫び申し上げます。

学びを支える新戦力 スタディーサポーター着任



この度、学習を支援するスタディーサポーターとして宇野真理奈さんが着任した。そこで、宇野真理奈さんに質問に答えてもらった。

宇野（うの） 真理奈（まりな） さん

①仕事の内容
先生方と生徒の皆さんの授業の支援を行います。
②出身高校
山形中央高校
③好きなアーティスト
RADWIMPS sumika
④高校時代の得意教科と苦手教科
得意教科：国語・体育
苦手教科：英語
⑤趣味・特技
スポーツ観戦、小さな子と触れ合う事
⑥座右の銘
一期一笑
⑦高校時代の思い出
世界記録保持者の加藤条治さんが凱旋来校した日の体育館の熱気！
⑧寒高生へのメッセージ
気軽に声をかけてくださいね！
勉強に困った際はぜひとも相談してはいかがだろうか。

編集者　髙橋　昊（1-3）